

東由利村報

No. 122 1967.9.1

小松村長就任

阿部村長の任期は8月19日で満了したので、小松村長は20日就任、21日に事務引きつぎを完了して、当日より執務することになった。



就任挨拶の要旨

(庁員に対して)

私は、欠点の多い人間でありまして、これまで、多少でも直そうと努めながら、ついに地金が出てきました。

感情をいつも平静に保ち、何事も着実に処理している人を見ますと、感心させられると共に、うらやましく思っている次第です。私個人の欠点は、他への迷惑も少いのですが、公人は影響も多いのであります。気をつけなければなりません。

私は、役場という機能体が

村民のためにより効率をあげるには、訓辞や挨拶ではどうにもなるものでなく、おたがいに他に求める前に、先づ自分に求めることが大切であって、私達一人一人が、長所を發揮し、短所を矯める努力が必要であると思います。

今後4年間、私は荷の重い大きな責任を負うことになりますが、皆さんこの心掛にたった協力を願いしたいのであります。明日私は知事さんを始め、県の主脳の方々

発行
秋田県東由利村役場
発行日
毎月1日(1部5円)
印刷
KK本間印刷所
昭和42年7月21日
第3種郵便物認可

に就任の挨拶に参る予定であります。皆さんも経験があると思いますけれども、上の人にはうといことは、心に負担と緊張を感じるもので、本省あたりに陳情に行った際などは、地方の町村長は、お茶くみの女の子にも、頭を下げている様な事もあるわけで、こんな場合、一寸した親切も有難く感ずるものであります。

村民の方々が役場に用向きで来た場合、このような気持ちをもち、心にかけながら来る人も少なくないと思いますので、窓口の取扱いには、これまで心を配って来ていることあります。しかし、この機会にもう一歩工夫して、配慮を加えますようお願いします。

就任にあたって申上げたいことは沢山なければならないでしょうが、この後注文も、希望も、又文句も申す事にし又、皆さんからも、必要なことは、文句も注文も言つてもらい、お互に話し合って行きたいと思っております。

要するに各自の持っている能力を、どうすれば村と村民の為に發揮出来るかであります。村勢の発展と、村民の幸せの為に、お互に努力し、期待に応え得る様努力して行きたいと思います。

県記念日に表彰

住民税優良納税

8月29日の「県の記念日」(明治4年秋田県の出来た日)に、我が村は住民税優良納税村として表彰されました。『納税貯蓄組合の育成指導とあいまって、広報紙・チラシ・部落電話等による広報宣伝活動を重点的に実施して、納税

意欲の高揚を図り、早期納税の実をあげている。特に個人県民税の徴収成績は昭和38年度以来連続完納し、県税行政に寄与すること大である。」

というのが表彰の趣旨で、表彰状ならびに記念品(保管庫)を授与されました。

これは、村民の皆様の総努力のいたすところで、まことによろこびにたえません。

なお今回この表彰を受けたのは全県中我が村と共に次の5カ町村だけです。

由利郡、岩城町・鳥海村

南秋田郡、井川村

仙北郡、大田村・仙南村

中学校20周年記念行事

下郷・玉米両中学校では、創立20周年を記念するため、学校・PTA・同窓会が共力して推進委員会をつくり、村の補助も得て、それぞれ次のような行事を行う。

○下郷中学校

日時 9月10日午前9時より
9,00~12,00 学芸発表
12,00~1,20

作品展示、生徒作品の外一般よりの文化財・生花等バザー(食券前売)

1,30~2,50 記念式
歴代校長、長期勤続職員へ感謝状記念品贈呈、在校生へ記念品をおくる
3,00~4,00、祝賀会
9月10日記念運動会(校庭)

記念誌(同窓会員名簿付)発行

○玉米中学校

日時 9月9日午前9時より
記念式

歴代校長・10年以上勤続職員・用務員に感謝状記念品贈呈、PTA同窓会員在校生に記念品をおくる

展示会

作品・写真による学校20年のあゆみ

芸能発表

3小学校代表・郷土芸能・ブラスバンド

祝賀会 午後

記念誌 同窓会員名簿発行

昭和42年度成人式

東由利村昭和42年度成人式は8月15日役場で行われた。

昭和21年4月2日から22年4月1日までに生れた人々で140名、この大半はよそに生れた人達であるが、昨年から始めた夏の成人式は服装もかんたんで114名が出席して盛大に行われた。

正午7分前に式をおわり、引き続きラジオの中継により終戦記念日の「全国戦没者追悼式」に参加して黙禱を行い午後は記念講演をきいた。

■講演「新らしい時代と成人の役割

中央教育事務所社教主事

菅原一先生

みなさんは今日成人式をあげられた。「成人になったということの最も重大なことは、これを契機に自分の主体性を確立し、強い信念をもつ

て終生これを貢ぬくことである。

我々の周囲には、幾千年来日本につちかわされて来た厄介な習慣や伝統がからんでいる。主体性をつらぬくことによって新秩序をたて、住みよい世の中をきづきあげることは、新たに成人となった皆さんの大好きな役割である。

その役割をはたすために、
①権力に盲従する秩序から協力の秩序へ

すべての人間関係から権力の圧力をとり除け

②自由から逃避するな
特に女性にこのことを望む
(スナオという名ですべての自由を押し殺されている嫁の立場など)

③正しい秩序をきづくために勇気を出そう

④自己の言動に信念を持て(卑屈になるな)

誓いのことば

太田久

終戦直後の混乱の中に生まれ、敗戦という最悪の条件の中で、育って来た私達は先輩や、肉親、一般社会人の愛情の中に育てられて今日ここに晴れの成人式をむかえるまでになりました。本当にありがとうございます。

人生第二の門出として今日ここに私達新らしい成人者のために、かかる意義ある盛大な式典をおあげ下さいましたことは、終生忘れる出来ない思い出となることでしょう。

今日この日を境にして、10代に別れを告げ、20代に突入する今、過去をふりかえって、自分の未熟と努力の不足が悔いられると共に、これからは、という新たな希望と決意が湧き上ります。

今日以後は成人として、民主主義国家の根幹である

選挙権・人間尊重・結婚の自由とあらゆる公権が与えられ、今さらに責任の重大と、人間と社会のすばらしさを、ひしひしと感じさせられます。

現在私達をとりまく社会の問題として、明正選挙・交通事故や公害対策・物価問題・所得格差の是生・農家の後継者対策・住宅問題等、数え切れない程の難問題をかかえています。

これ等の問題を解決するためにも、社会の人々は私達に大きな期待をかけておられると思います。

この期待にむくいるためにも、私達はまづ、忍耐・努力勤労・勤勉の四つの言葉を心にキザミ、大空に羽ばたく若ワシのような意気をもって、未来にえがく大いなる夢の実現のため、日本を背負う若者として一步一歩力強く前進する決意を申し上げて誓いのことばといたします。

消防訓練大会

8月24日午前8時30分から、昭和42年度消防訓練大会が台山グランドで行われた。

折柄の豪雨の中の開会式は、村長の「かかる悪条件の中で行われる訓練はかえって有意義であろう」という激励もあって意氣高らかに、国旗掲揚・殉國の碑に対する默とうに始まり「通常点検及び小隊訓練」「ポンプ操法」と予定の順序に従い訓練を進めるうちに、天候回復して絶好の訓練日程となり、午後4時までに全日程を完了した。

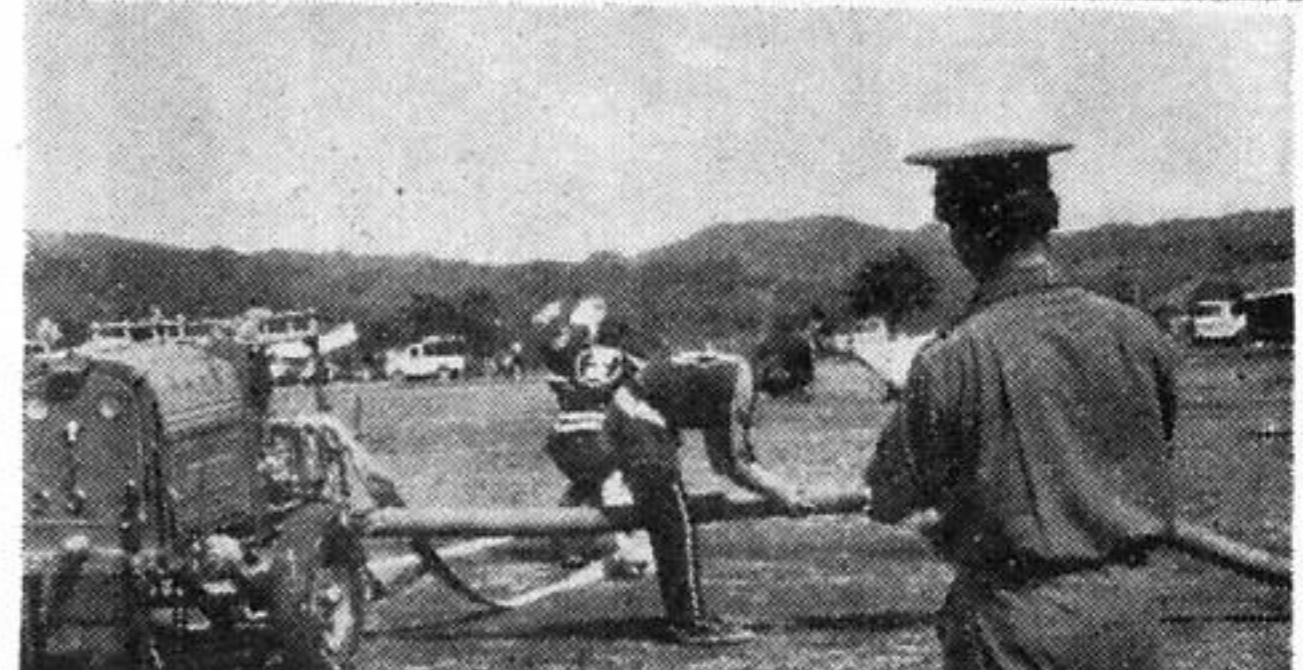
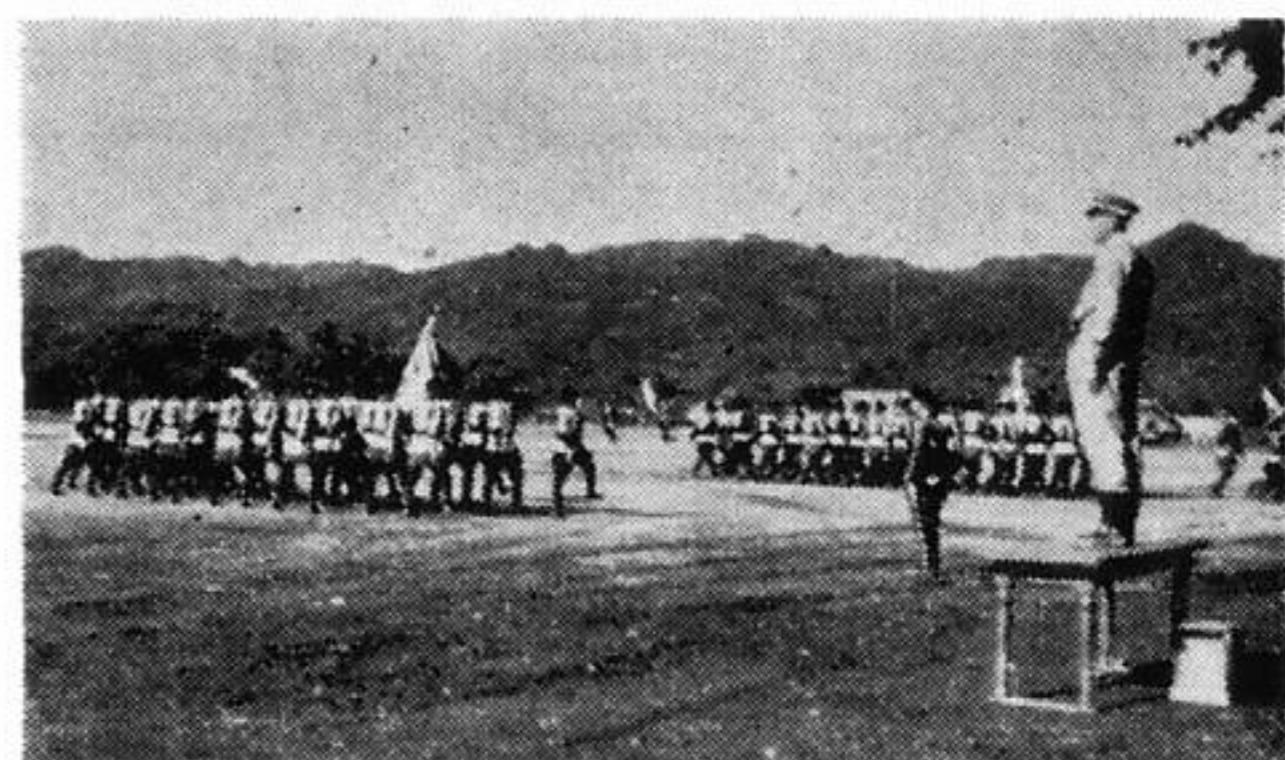
成績順位はつぎのとおり

総合	第5分団
第1位	第8分団
第2位	第6分団

通常点検及び小隊訓練	第5分団
第1位	第8分団
第2位	第7分団

ポンプ操法	第5分団第1班
第1位	第6分団第2班
第2位	第8分団第2班

なお8月27日鶴舞グランドで行われる本荘市由利郡の消防訓練大会には、第5分団が出席する、前2回とも2位になつてるので、今回は必勝を期している。



東由利村

季節労務者協議会

村内季節労務者の熱心な要望により、今年の春発企人を定めて準備を進めていたこの会は、200余名の参加を得て8月28日役場で設立総会を開いた。

700人をこえる季節労務者を組織化し、固く団結して、優良な職場の確保・集団就職・会員の相互扶助などを積極的に進めると共に、職業安定所・村行政との結びつきを密接にする。

このたびの総会で選任された役員は次のとおりです。

会長 三浦彦次

副会長	遠藤次雄、高橋民治郎、畠山重左工門
監事	鎌田六郎、大日向菊松佐藤真和

福祉年金改正さる

先般の特別国会で福祉年金の改善をはかるため、年金額の引上げと、所得制限をゆるめることを趣旨とした法律の改正が行なわれました。

改正年金額次のとおり

- 老令福祉年金
現行18,000円(月1,500円)
から19,200円(月1,600円)
- 障害福祉年金
現行26,400(月2,200円)
から3万円(月2,500円)
- 母子(準母子)福祉年金
現行20,400円(月17,00円)
から24,000円(月2,000円)
に引上げられました。

青少年健全育成世話人

委嘱状交付

8月11日午前10時から役場で委嘱状の交付式を行い、次の80名に対し、県と村の「青少年問題協議会長」連名の委嘱状が交付され、この困難な仕事をお願いすることになりました。

青少年を健全に育てることは、国でも県でも村でも何よりも大切な仕事ですので、数多くの機関や団体がこのことに努力しております。秋田県ではこれ等のものを一元化し、共通の目標にむかって強く推し進めるために、昨年4月知事直属の「青少年対策室」を設けました。この対策室の企画によって10月に、全県を一丸とする「青少年健全育成会議」を結成しました。これはたてには県の行政と民間の施策とを結びつけ、横には市町村の青少協お互いのつながりをつけるためのものです。しかし、青少年の健全育成という日常生活の実践面は部落・町内という小地域の住民活動にたよる場合の方が多いし効果も大きいのです。

■関係者の共通の広場を持つとう■

地域には、青少年育成に関係している人々や団体がいくつもあります。子ども会育成会・校外指導員・親の会・保護司・民生児童委員・体育指導員・PTA・教師・子ども会世話人等々、こうした直接活動している人々は、自分達の属している団体での話し合いは持たれているが、団体と団体との話し合いは割合にありません。

そこで、これ等の関係者が共通の広場で話し合い・考えあい・力を出しあって実行に移すという協力体制が必要なわけです。

今度お願いした世話人は、こうした共通の広場を持たせるようにお世話するのがその役割だわけです。

そのために、その地域(小学校単位)の、問題によってその全部又は一部の関係者を集めてもらって、話し合いの上に実践に移していくことになるわけです。このように大事な使命を持っておりますので、世話人の選定については、各校長とPTA会長にお願いし、その組織をとおして慎重に選んでいただき、村長の推せんによって、青少年対策室あて申請し、委嘱状の交付となった次第です。

どうぞ各団体・機関の皆様も全面的なご協力をお願いします。

○世話人氏名()内担当区

■玉米区

八嶋与四三(家ノ下)大坂良次郎(下小路)小松長盛(宇戸坂)菊地与治郎(館西)小松昌樹(八日町)莊野慶治(五海保)工藤武雄(山崎)高橋典三(久保)小野寺勝蔵(板戸)高橋一男(松柴)佐藤盛永(新沢)高橋忠市郎(新田)小松長毅(須郷田)小松敏雄(高戸屋)高橋俊二郎(前田)佐藤清(下小屋)畠山耕作(跡見坂)高橋俊一(滝の沢)

■住吉区

渡辺清一(時雨山)渡辺隆藏(田代)長谷山悦雄(石高)佐藤留吉(地下ノ沢)高沢照春(葎沢)長谷山宇之吉(向田)横山藤四郎(智者鶴)横山治三郎(泡ノ淵)佐藤金吉(黒淵)

■袖山区

畠山秀夫(袖山)佐藤公一(大吹川)武田重雄(須郷)鈴木盛(舟打揚)

■蔵山区

佐藤直温(横渡)小野貞子(新田)畠山スエノ(島)小松善次郎(黒沢)阿部寅静(蔵)

■老方区

志村金之助(新町)小野武(

上里)赤川菊子(横小路)藤原陽太郎(上通)佐藤八五郎(中通)小野麗子(下通)菊地常作(湯出野)佐藤イデ(寺田)畠山東市郎(茂沢)小笠原清一郎(祝沢)

■宿区

佐々木貞一(大琴)梅津嘉一郎(大琴)佐々木正隆(大琴)小野喜代蔵(宿)高橋フジョ(畠村)大庭喜右エ門(舟木)大庭敏雄(舟木)鈴木孝弥(沼)阿部フミヨ(杉森)小野藤記之助(下吹)畠山寅松(下吹)小野富勝(高屋)小野富蔵(高屋)小野昭一(巾野)小笠原謙一(土場沢)小笠原定夫(土場沢)近江義弘(奥ケ沢)木島錦一(大台)石綿民喜(大琴)佐々木悦夫(大琴)

■法内区

工藤定右コ門(野田)遠藤ヤスエ(野田)遠藤太吉(新処)工藤二三雄(新処)阿部富三(十二前)遠藤竹三(〃)阿部涼雄(桂台)遠藤定子(小倉)遠藤直記(〃)遠藤兵一(〃)工藤賢一(中ノ沢)伊東勝一郎(高村)工藤好男(〃)

○各区代表連絡委員

渡辺清一・佐藤留吉・阿部富三・遠藤直記・畠山秀夫・佐藤公一・佐々木貞一・大場喜右エ門・阿部寅静・阿部彦右エ門・八嶋与四三・畠山耕作・志村金之助・赤川菊子

社会人野球大会

雨天のため延期されていた本大会(組合せ既報)は8月26、27の2日間台山グランド

で行われた。参加14チーム、決勝戦はA組勝者新町チームと、B組勝者老方クラブの間に行われ、4:1で老方クラブが優勝した。

栗の苗木を斡旋します

東由利村栗導入研究会で、今秋或いは明春栗を栽培しようとする方に、県の奨励品種になっておる西明寺栗の苗木を、次の要領により斡旋しております。

記

1 品種の選定

(1)原野等に植付する場合は西明寺1号を主品種にし、授粉樹として西明寺2号を混植(20%)する方がよい
(2)比較的肥沃地には2号を主品種にし、授粉樹として1号を混植(20%)する方がよい。

2 数量の決定

10アール(1反歩)当たり40本を基準にして下さい。

3 苗木の格価

1本当たり特等120円、1等100円

4 申込方法

次の方、或いは林業係に現金をそえて、9月15日までに申込んで下さい。

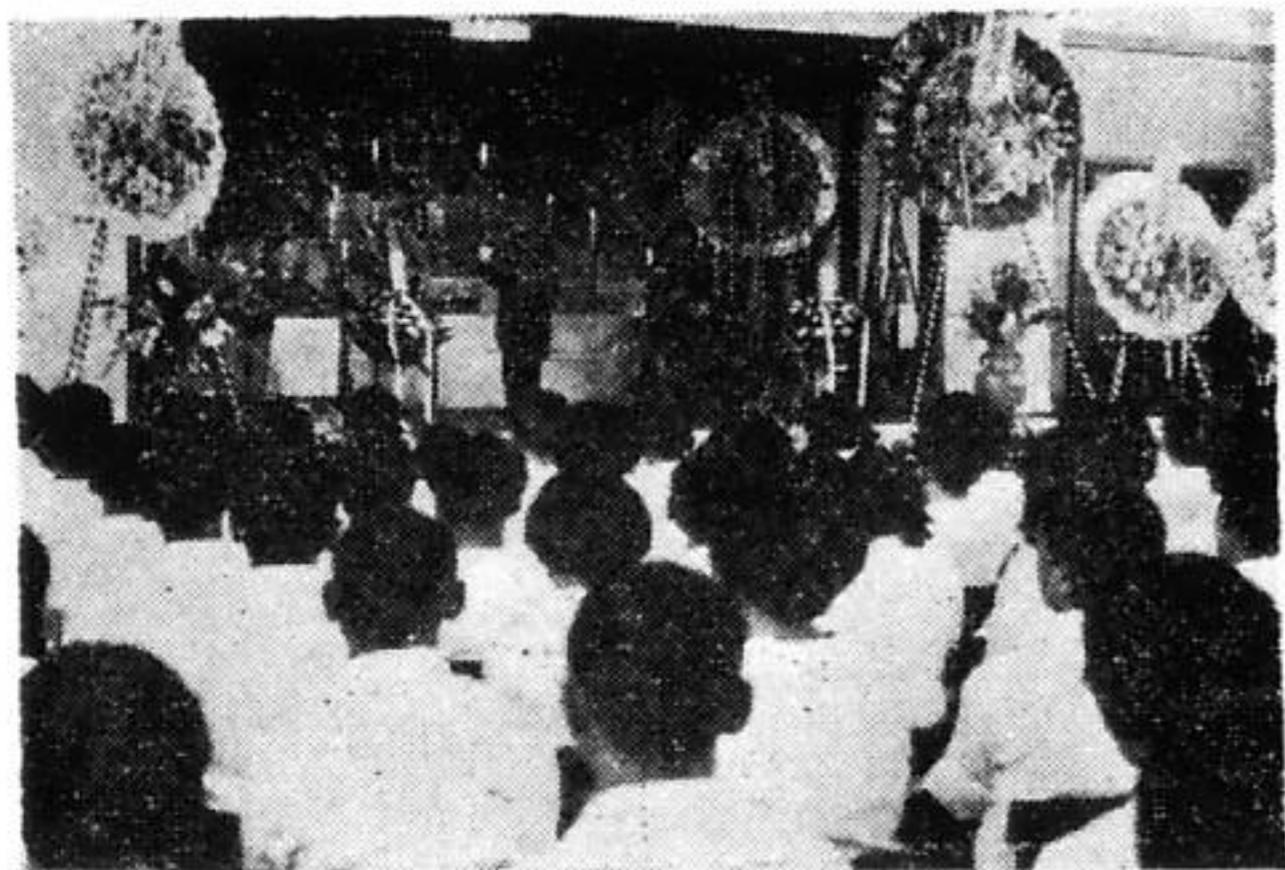
智者鶴畠山安蔵。黒淵八島俊男。田代渡辺哲次郎。新田高橋重助。山崎工藤武雄。新沢佐藤盛永。荒沢嶽石勝男。柴倉小松キサ。板戸小野寺勝蔵。倉畠山倉蔵。茂沢畠山市三郎。下通佐藤治三郎。島千葉徳左エ門。桂台千葉宇三郎。大琴佐々木貞一。舟木浅田民義。



木村校長告別式

下郷中学校長木村勇助氏はかねて入院中でしたが、先頃退院して自宅療養中のところ8月15日なくなられましたの

で、村教育委員会では、先生生前の功績に対し18日下郷中学校で告別式を取り行いました。



青少年健全育成世話人

第一回研修会

日時 8月29日午後1~4時
場所 役場会議室

出席者 世話人 32人

青対協委員 5人

学校長職員 12人 計49人

講師 青少年対策室々長補佐
高橋三郎氏

由利福祉事務所長
佐々木健一氏

■高橋氏講話要旨

○青少年対策室

知事直属の機関で13名の職員で編成されている。

青少年育成の共通目標をきめた。その実践として「声をかけ合う運動」をおこした。

青少年健全育成を一元化するため「秋田県青少年健全育成会議」をつくった。

○健全育成会議

- 1 青少年健全育成の任意団体
- 2 行政と民間施策の結合の場
- 3 青少協相互の連携の場
- 4 県民運動の推進をはかる
- 5 地域活動の推進をはかる

○青少年健全育成世話人

▷世話人に対する知事の考え方
△昨年知事は県内8カ所に市町村長に集まってもらつて「青少年健全育成」に対する率直な意見を聞いた。その結果各市町村共、数多くの育成機関があるが互いの連絡が

なく、従って対策がバラバラで成果があがっていない。

地域の活動を総合調整する役割をするものが必要だ。この役割を担当するものが世話人である。従って世話人は直接健全育成にたづさわるよりも、育成する人・育成される人のやりやすいように世話をするのが重な任務です。

○青少協と世話人

世話人は青少協から委嘱されたけれども、その下部組織ではない。しかし目的達成のため一体となって協力することが望ましい。

■質疑・協議■

世話人制度を活用するため青少協を強化せよ

地域にある諸会の協力体制をどうしてつくるか。

▷協力しなければ解決出来ない問題を協力によって解決して実践を積み上げる

集会の召集は誰がやるか
▷青少年が適当でないか

世話人の組織をはっきり示してもらいたい

■福祉事務所長

○健全育成に体力をきたえることを取上げられたい

○地域の実情を生かした運営であれ

○社会に出てからの非行対策を講ずるように

慰靈祭

日清戦役以降戦死病没者慰靈祭は9月8日午前10時から老方泉秀寺で取り行われます

老人クラブ連合会総会

東由利村老人クラブ連合会では、8月30日役場で総会を開き、41年度決算を承認し、役員の改選を行って陣客を一新し、決意も新たに内容の充実した老人クラブの運営にあたることを申し合せた。

新役員つぎのとおり
会長、畠山耕作
副会長、梅津千代松
監事、阿部朝吉、菅原鶴三郎

由利ブロツク

婦人幹部研修会

由利郡婦人団体連絡協議会の主催で、9月3日午前10時30分から行われる。

参加者は、東由利、大内、岩城の婦人会幹部の外、郡連絡協議会幹部で、本荘市中央公民館長梅津清一氏の講話、参加3町村代表各1名の「婦人の組織活動について」の体験発表・分科会などがある。

◎しかる前に10かぞえよ

〈じようすな話し力〉

NHKラジオ第一放送

毎週月~金午後6:05

おかあさん方のなかには、すぐカツとして子どもをしかる人がいますが、しかるとおこるとはちがいます。カツとなって感情をムキ出しにして相手にぶつけるのは、おこること、おこっていては相手に反省を求めるための対話はできません。冷静にならないと、おたがいに不快になってシコリが残るばかりです。

まず冷静になって、しかる目的を考えましょう。しかるのは、相手に欠点を反省してもらい、向上してもらうのが目的ですから、相手を納得させなければなりません。「しかる前に10かぞえよ」という教えがあります。

教室の窓下に咲くサルビアの赤き花びらに蝶の来て舞ふ
夏休み終へて来る子を待つ如くあかあかと咲くサルビアの花
サルビアの葉咲きにけり登校の子のらひとみに赤く映りぬ
秋めきし朝静かなりサルビアの花びら赤く土にこぼれて

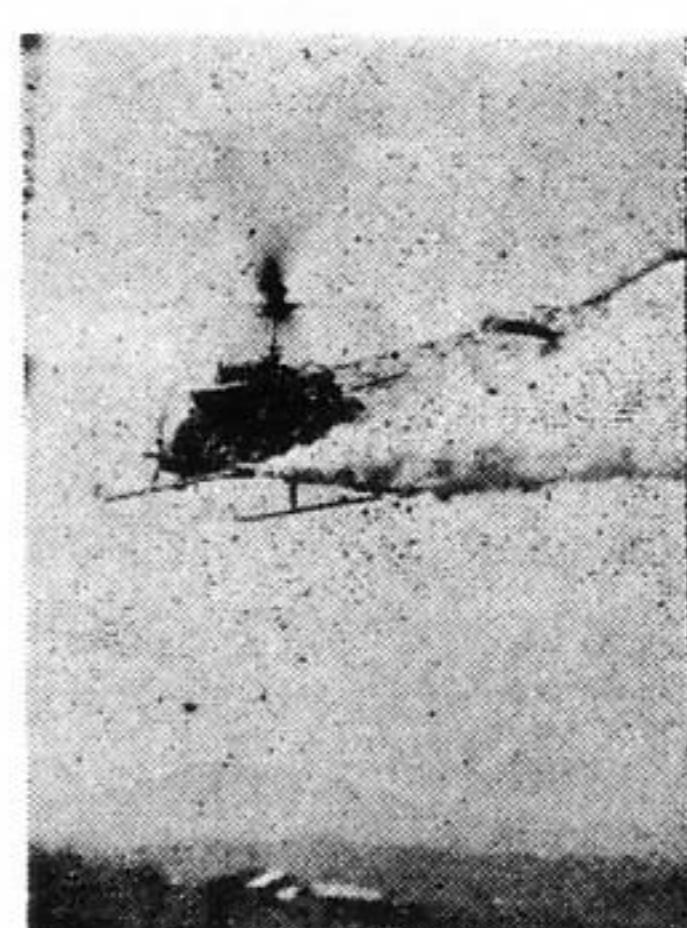
短歌 サルビアの花 山田礼智

まず10かぞえて冷静になり
しかる原因となつた事実をよ
くたしかめることです。

ヘリ防除

8月4日、午前6時30分から9時40分までの間に、東由利村共済組合主催のヘリコプターによるイモチ防除の薬剤撒布が行われた。

撒布範囲は、老方、館合地区を中心とする297.6haで、撒布中は、快晴・無風に近く作業は極めて順調に完了した。



小学校ソフトボール大会

8月25日台山グランドで行われた。参加チームは各学校共男女各1チーム、合計14チームで、小学生ながらあなたがたが好い好仕合が続出、男子は老方小、女子は法内小チームが優勝した。